

三八上北森林管理署	
タイトル	低コスト林業の推進に向けた現地検討会
実施年月日	平成24年10月12日(金)
実施場所	青森県上北郡東北町字清水目深山国有林1070い1林小班
参加者	局署：東北森林管理局、青森事務署、三八上北森林管理署 23名 外部：三八上北流域森林林業活性化センター(共催)、 青森県上北地域県民局農林水産部、 青森県三八地域県民局農林水産部、 青森県森林組合連合会、青森県森林組合十和田木材流通センター、 東北町森林組合、上北森林組合、三八地方森林組合、 署管内林業事業体等 51名 計 74名
<p>【取組の目的・概要】 三八上北地域における林業においては、労働生産性の向上と伐採・搬出作業の低コスト化が重要な課題となっている。 このため、列状間伐の推進のほか、高性能林業機械及び低コスト路網の普及・定着を推進し、林業における更なる労働生産性の向上と生産コストの低減を図るため現地検討会を開催してきた。 今年度においても、一昨年に策定された森林作業道作設指針に基づく森林作業道の作設方法について普及・定着を図る。</p>	
<p>【取組の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林作業道作設の考え方については、排水に配慮した波形線形、軟弱な路盤に対応する枝条等の敷き並べ、洗い越しや丸太による簡易横断工などの作設のほか、森林作業道作設の実演を交えながら情報提供し、意見交換を通じて各事業体の知識・技術の向上に資することができた。 ・三八地域県民局から、土の特性に応じた簡易で耐久性のある森林作業道の路体調査について説明があり、土の特性に応じた作設方法について認識を深めた。 	
<p>【出された意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三八地域と上北地域では土質が全く違うことから、それに応じた作業道を作設して対応している。 ・沢沿いに作用道を作設する場合は、濁水防止などを十分に考慮して作設すること。(溪畔林含む。) 	
<p>【今後の課題】 林業の低コスト化のため、民有林においても列状間伐や高性能林業機械の導入が進んでいるが、効率的な作業仕組みと柔軟な人員配置等について更に検討し、生産性の向上を図り、低コスト作業システムを推進する必要がある。 今後も継続して現地検討会を開催し、「森林・林業再生プラン」の実現に向け、地域林業に貢献できるよう連携した取り組みを進める必要がある。</p>	



枝条材を利用した路盤強化の検討



丸太による簡易横断工



森林作業道作設の実演



作設状況の意見交換